

### 三宅島「やや振幅の大きい微動」活動

2001年2月以降、短時間にまとまって微動が発生する現象が頻繁にみられるようになった(図1)。とくに3~4月には基準観測点で振り切れる規模の「やや振幅の大きい微動」も発生し、M2.0を超え島内で有感となるものも数回あった(表1)。波形の周期は0.2秒前後~1.0秒以上と長周期である(図2)。微動発生時には空振を伴うものもあったが、活動の前後で、噴煙等の表面活動に変化はみられなかった。震源が決まったものは少ないが、雄山山頂直下であった。(図3)

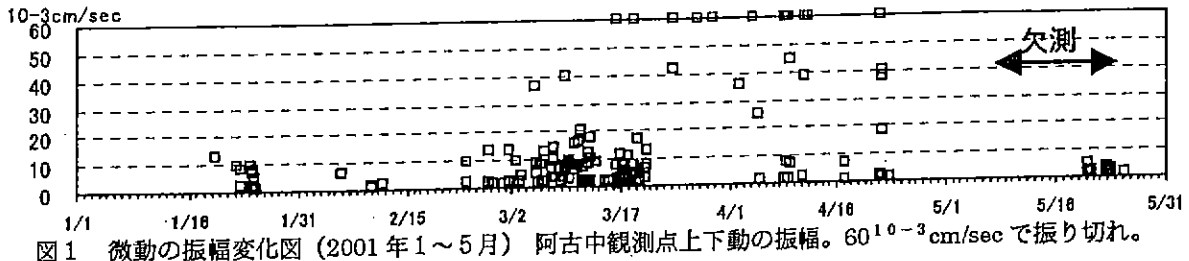


図1 微動の振幅変化図(2001年1~5月) 阿古中観測点上下動の振幅。60<sup>10-3</sup>cm/secで振り切れ。

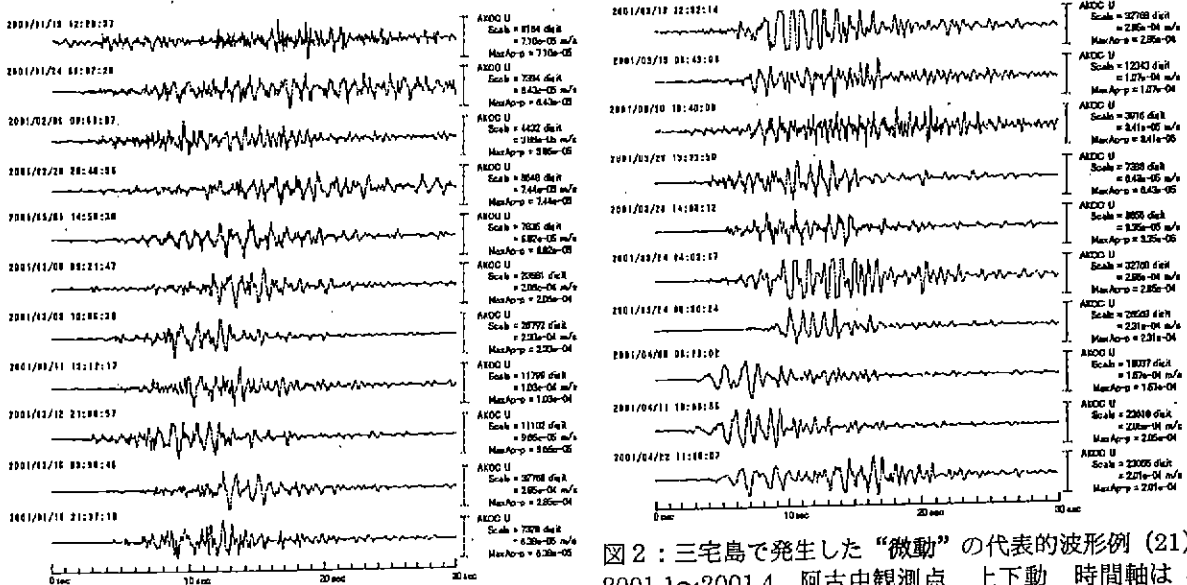


図2: 三宅島で発生した「微動」の代表的波形例(21) 2001.1~2001.4 阿古中観測点 上下動 時間軸は30秒

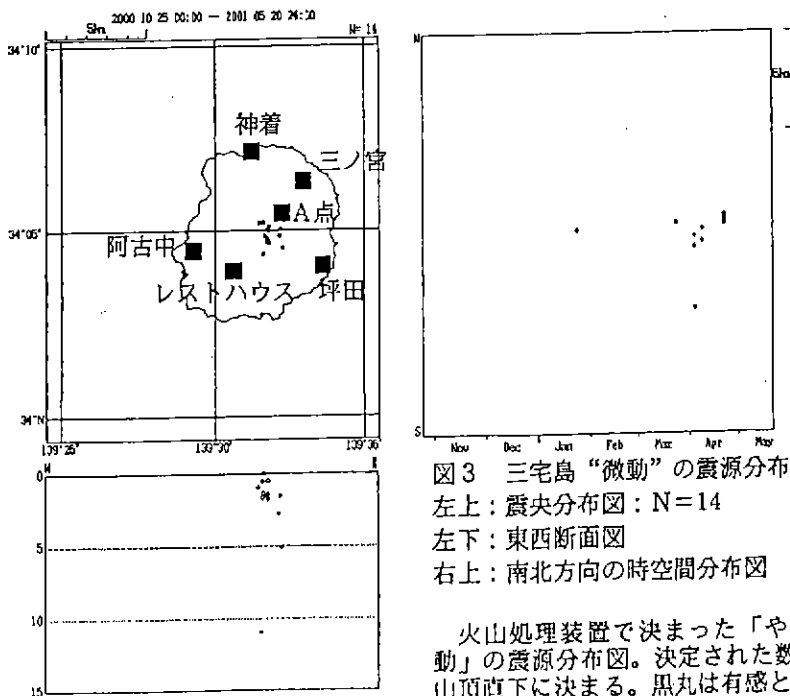


図3 三宅島「微動」の震源分布図

左上: 震央分布図: N=14

左下: 東西断面図

右上: 南北方向の時空間分布図

火山処理装置で決まった「やや振幅の大きい微動」の震源分布図。決定された数は少ないが、雄山山頂直下に決まる。黒丸は有感となった地震。